


評価対象年度	平成26年度	<b>施策評価シート</b>	政策	8	施策	23
施策名	23 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興		施策担当 部局	環境生活部, 教育庁		
「宮城の将来ビジョン」における体系	政策名	8 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	評価担当 部局 (作成担当 課室)	教育庁 (生涯学習課)		

<b>施策の目的</b> (目標とする宮城の姿)	<p>○ 意欲や興味に応じて学んだり交流したりすることができる環境づくりが進んでおり、多彩な生涯学習活動やその成果が個人の生きがいや地域づくりなどに生かされている。</p> <p>○ 県民の運動実施率が向上し、地域のだれもが年齢・関心・技術に応じてスポーツに親しんでいる。競技スポーツでは、全国や世界で活躍する選手を輩出している。</p> <p>○ 郷土の伝統的な文化芸術が県民の共通財産として保存・継承や活用がなされるとともに、子どものころから一人ひとりの創造性をはぐくむ環境づくりが進み、県民が文化芸術を通して地域づくりや様々な交流を行っている。</p>	
<b>施策の方向</b> (「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の行動方針)	<p>◇ 生涯学習社会の環境づくりに向けた取組を充実させ、学習機関や文化芸術等多様な分野における関係団体とのネットワーク化などにより県民の自主的な学習活動を支援する。</p> <p>◇ みやぎ県民大学の実施などにより、社会の要請する学習機会の確保に向けた取組や、地域の多様な生涯学習活動を支援する指導者等の育成を図る。</p> <p>◇ 総合型地域スポーツクラブの設立・育成支援など、生涯スポーツ社会の実現に向けた環境づくりを推進する。</p> <p>◇ 競技スポーツにおいて、指導者育成対策の拡充や、競技力向上に向けた環境の充実を図る。</p> <p>◇ 県民が文化芸術に触れる機会を充実するなど、文化芸術活動の振興を図る。</p> <p>◇ 地域文化の継承・振興に向けた取組を支援し、文化財の保存・活用を推進する。</p> <p>◇ 県民の文化芸術活動を生かした地域づくりや交流を推進する。</p> <p>◇ 宮城県図書館・美術館・東北歴史博物館等の拠点の充実と関係機関とのネットワーク構築に取り組む。</p>	

決算(見込)額 (千円)	年度	平成26年度 (決算(見込)額)	平成27年度 (決算(見込)額)	平成28年度 (決算(見込)額)	平成29年度 (決算(見込)額)
	県事業費	2,306,593	-	-	-

※決算(見込)額は「宮城の将来ビジョン推進事業」と「取組に関連する宮城県震災復興推進事業」の合計額(再掲分含む)

<b>目標指標等</b>	<b>■達成度</b> A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず、達成率が80%以上100%未満」 C:「目標値を達成しておらず、達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で、判定できない」																													
	<b>■達成率(%)</b> フロー型の指標: 実績値 / 目標値    ストック型の指標: (実績値 - 初期値) / (目標値 - 初期値) 目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値 - 実績値) / (初期値 - 目標値)																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>初期値 (指標測定年度)</th> <th>目標値 (指標測定年度)</th> <th>実績値 (指標測定年度)</th> <th>達成度 達成率</th> <th>計画期間目標値 (指標測定年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 公立図書館等における県民一人当たりの図書資料貸出数(冊)</td> <td>3.87冊 (平成20年度)</td> <td>3.62冊 (平成25年度)</td> <td>3.64冊 (平成25年度)</td> <td>A 100.6%</td> <td>4.10冊 (平成29年度)</td> </tr> <tr> <td>2 みやぎ県民大学講座における受講率(%)</td> <td>60.8% (平成24年度)</td> <td>70.0% (平成26年度)</td> <td>71.1% (平成26年度)</td> <td>A 101.6%</td> <td>85.0% (平成29年度)</td> </tr> <tr> <td>3 総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率(%)</td> <td>42.9% (平成20年度)</td> <td>71.4% (平成26年度)</td> <td>62.9% (平成26年度)</td> <td>C 70.2%</td> <td>80.0% (平成29年度)</td> </tr> <tr> <td>4 みやぎ県民文化創造の祭典参加者数(うち出品者・出演者等の数)(千人)</td> <td>1,036千人 (23千人) (平成20年度)</td> <td>1,020千人 (23千人) (平成26年度)</td> <td>1,039千人 (17千人) (平成26年度)</td> <td>A 101.9%</td> <td>1,050千人 (24千人) (平成29年度)</td> </tr> </tbody> </table>		初期値 (指標測定年度)	目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)	1 公立図書館等における県民一人当たりの図書資料貸出数(冊)	3.87冊 (平成20年度)	3.62冊 (平成25年度)	3.64冊 (平成25年度)	A 100.6%	4.10冊 (平成29年度)	2 みやぎ県民大学講座における受講率(%)	60.8% (平成24年度)	70.0% (平成26年度)	71.1% (平成26年度)	A 101.6%	85.0% (平成29年度)	3 総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率(%)	42.9% (平成20年度)	71.4% (平成26年度)	62.9% (平成26年度)	C 70.2%	80.0% (平成29年度)	4 みやぎ県民文化創造の祭典参加者数(うち出品者・出演者等の数)(千人)	1,036千人 (23千人) (平成20年度)	1,020千人 (23千人) (平成26年度)	1,039千人 (17千人) (平成26年度)	A 101.9%
	初期値 (指標測定年度)	目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)																									
1 公立図書館等における県民一人当たりの図書資料貸出数(冊)	3.87冊 (平成20年度)	3.62冊 (平成25年度)	3.64冊 (平成25年度)	A 100.6%	4.10冊 (平成29年度)																									
2 みやぎ県民大学講座における受講率(%)	60.8% (平成24年度)	70.0% (平成26年度)	71.1% (平成26年度)	A 101.6%	85.0% (平成29年度)																									
3 総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率(%)	42.9% (平成20年度)	71.4% (平成26年度)	62.9% (平成26年度)	C 70.2%	80.0% (平成29年度)																									
4 みやぎ県民文化創造の祭典参加者数(うち出品者・出演者等の数)(千人)	1,036千人 (23千人) (平成20年度)	1,020千人 (23千人) (平成26年度)	1,039千人 (17千人) (平成26年度)	A 101.9%	1,050千人 (24千人) (平成29年度)																									

■ 施策評価（原案）	概ね順調
<b>評価の理由</b>	
目標指標等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「公立図書館等における県民一人当たりの図書資料貸出数」については、震災の影響により、未再開や代替運営の図書館等があるものの、市町村立図書館等の貸出数が増えたことから、達成率が100.6%となったため、達成度は「A」に区分される。</li> <li>・「みやぎ県民大学講座における受講率」については、震災後以降落ち込んでいた受講者数も、需要の掘り起こしが図られた講座の受講率が高まったことから、達成率が101.6%となり、達成度は「A」に区分される。</li> <li>・「総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率」については、昨年度より着実に成果を挙げているが、達成率が70.2%となったため、達成度は「C」に区分される。</li> <li>・「みやぎ県民文化創造の祭典参加者数」については、目標値を上回り、達成率が101.9%となったことから、達成度は「A」に区分される。</li> </ul>
県民意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年県民意識調査において、類似する取組である震災復興の政策6施策3「生涯学習・文化・スポーツ活動の充実」の調査結果を参照すると、高重視群が57.9%(前回60.2%)、満足群が35.3%(前回35.0%)となっている。</li> <li>・施策への関心はある程度あるものの、満足度は低い状況にあるが、前回より満足度の改善が図られている。</li> </ul>
社会経済情勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心のよりどころとして、多様な学習機会の提供や文化芸術・スポーツに親しめる環境整備が求められている。</li> <li>・様々な芸術文化団体等による被災地への支援活動が、心の復興に果たす芸術文化の役割について認識が深まっている。</li> <li>・震災に関する記憶の風化を防ぐとともに、その情報を発信することが必要となっている。</li> </ul>
事業の成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県図書館では、平成25年3月に策定した「図書館振興基本計画」を基に、資料・情報の充実及び読書環境の充実、さらに市町村図書館等の復興支援や震災資料の収集などを積極的に展開した。</li> <li>・県図書館情報ネットワークシステムの図書検索機能を広く周知したことで、県内図書館等の蔵書の活用が充実し、市町村図書館等との連携強化及び県民サービスの向上につながった。</li> <li>・震災復興に向け、多様な学習機会を提供するためみやぎ県民大学を開催した。要望により開講数を増やし、受講者も前年度より増加するなど、震災以降徐々に学習意欲が高まってきたと考えられる。</li> <li>・被災校に対して運動部活動を支援するために、活動場所への移動や活動場所の確保について支援を行った。</li> <li>・「総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率」については、現段階の目標値には達していないものの、新設されるクラブは着実に増えており、一定の成果が現れている。</li> </ul> <p>・以上により、施策の目的である「生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興」は「概ね順調」と判断する。</p>

※ 評価の視点： 目標指標等、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

<b>施策を推進する上での課題と対応方針（原案）</b>	
課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習社会の確立は、様々な分野にまたがる裾野の広い取組であり、その実現に向けて総合的な観点から方針を検討し、施策の展開を図る必要がある。</li> <li>・図書館については地域コミュニティの核としての役割など新たな機能も期待されるところであり、従来からのあり方の見直しを含めた新たな姿についての検討も必要である。</li> <li>・東日本大震災に関する記憶の風化を防ぎ、震災の教訓を後世や他地域へ継承する必要がある。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブ未設置市町村には、行政と関係団体の理解を得ることや住民の認知度を高める。また、設立済みのクラブについては自立に向けた支援が必要である。</li> <li>・文化芸術の振興等による心の復興をより充実させることに加え、今後、文化芸術を地域づくりの推進等に有効活用していくことが求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習審議会での審議や生涯学習に携わる方々との意見交換、全国の先駆的事例なども参考にしながら、これまでの生涯学習の成果を活かした地域づくりや社会づくりに加え、東日本大震災の影響による環境の変化や震災から得た学びや気づきを活かした生涯学習の在り方について検討し、施策・事業に反映させていく。</li> <li>・宮城県図書館の役割として求められる「図書館のための図書館」として、県全域を対象とした図書館サービスの充実を図るとともに、東日本大震災による被災図書館に支援を行うなど、従来の図書館の枠を超えた取組を行う先駆的な事例も参考にしながら、県民から期待される機能について検討していく。</li> <li>・県内市町村と連携し、震災関連資料を収集・デジタル化し、蓄積したデータをWeb上で公開する東日本大震災アーカイブ宮城を適切に運用するとともに、データのさらなる充実と利活用の促進を図る。</li> <li>・みやぎ広域スポーツセンターにおいて、未設置市町村へのアプローチの在り方を明確にし、巡回訪問や研修会をより効果的に行い、より良い広報・啓発活動を検討する。</li> <li>・県庁内における文化芸術振興に係る関係課室の共通認識の形成により、横断的な事業実施を促進するとともに、文化芸術による復興支援活動に携わっている様々な団体等との連携・役割分担を図っていく。</li> </ul>

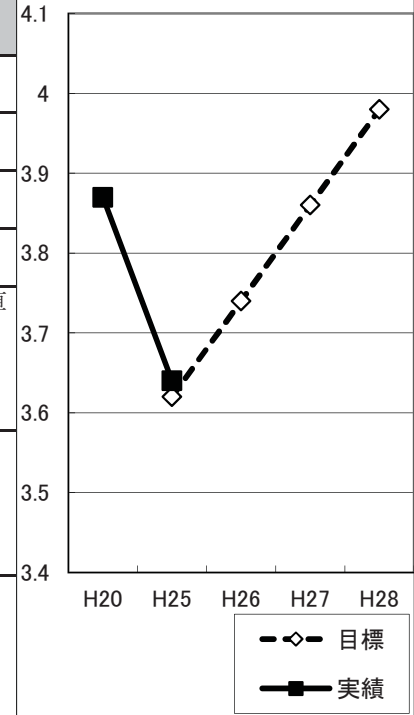
評価対象年度 平成26年度

政策 8 施策 23

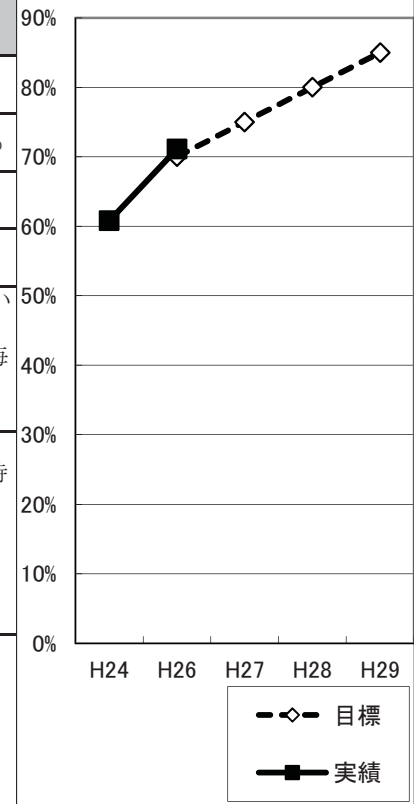
目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 ストック型の指標:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)  
 目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値-実績値)/(初期値-目標値)

1	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H26	H27	H28	H29	
	公立図書館等における県民一人当たりの図書資料貸出数(冊) [フロー型の指標]	指標測定年度	H20	H25	H26	H27	H28	
		目標値	-	3.62	3.74	3.86	3.98	
	県民1人が県図書館をはじめとする公立図書館等で一年間に借りた図書資料数	実績値	3.87	3.64	-	-	-	
達成率		-	100.6%	-	-	-		
目標値の設定根拠	・公立図書館等における県民一人当たりの図書資料貸出数については、目標値として設定した4.10冊まで回復させることを目指し、震災後の実績値(H24:3.52冊)から毎年0.12冊ずつ増加させることを目標値とし設定した。							
実績値の分析	・未再開の図書館や代替運営の図書館等はあるが、市町村立図書館等の貸出数が増えていることから、目標値を上回ることができた。							
全国平均値や近隣他県等との比較	-							



2	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H26	H27	H28	H29	
	みやぎ県民大学講座における受講率(%) [フロー型の指標]	指標測定年度	H24	H26	H27	H28	H29	
		目標値	-	70.0%	75.0%	80.0%	85.0%	
	講座の定員に対するの受講者の割合	実績値	60.8%	71.1%	-	-	-	
達成率		-	101.6%	-	-	-		
目標値の設定根拠	・みやぎ県民大学における受講率については、震災前は80%を超えて推移していた。 ・受講率について、震災前の水準(90%程度)までに回復させることを目標とし、毎年5%ずつ増加させることを目標とし設定した。							
実績値の分析	・定員2,153人に対し、受講者が1,531人となり、受講率は71.1%となった。 ・震災後に1,300人程度まで落ち込んだ受講者数も年々順調に増加している。特に、広報の効果で、需要の掘り起こしが図られた講座の受講率が高まったことにより、目標値を上回ることができた。							
全国平均値や近隣他県等との比較	-							



評価対象年度	平成26年度
--------	--------

政策	8	施策	23
----	---	----	----

### 目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型の指標: 実績値/目標値 ストック型の指標: (実績値-初期値)/(目標値-初期値)  
 目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値-実績値)/(初期値-目標値)

3	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H26	H27	H28	H29	
	総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率(%) [ストック型の指標]	指標測定年度	H20	H26	H27	H28	H29	
	目標値	-	71.4%	74.3%	77.1%	80.0%		
	実績値	42.9%	62.9%	-	-	-		
	達成率	-	70.2%	-	-	-		
目標値の設定根拠	・国のスポーツ基本計画において、施策目標の1つに「各市区町村に少なくとも1つは総合型地域スポーツクラブが育成されることを目指す。」としている。これを受け、宮城県スポーツ推進計画では、県内市町村への設置を目標としている。							
実績値の分析	・総合型地域スポーツクラブは、平成23年度末までに34クラブが設立され、平成24年度末に7クラブ平成25年度末では3クラブ、平成26年度末には1つのクラブが新設され、現在22の市町村に45のクラブが活動を展開している。総合型地域スポーツクラブの設立・育成支援は、みやぎ広域スポーツセンターにおいて行っており、平成22年度から公益財団法人宮城県体育協会に業務の一部を委託し、着実に成果を挙げてきている。							
全国平均値や近隣他県等との比較	・平成26年7月現在、全国における総合型地域スポーツクラブの市町村設置状況は、全国平均80.1%である。本県は35市町村中22市町村であり、その設置率は62.9%である。東北地区においては、秋田県100%、山形県94.3%、岩手県75.3%、福島県81.4%と高位県が多い。しかし、他の都道府県においては、活動休止や廃止しているところがあるが、本県では全てのクラブが存続活動している。							

4	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H26	H27	H28	H29	
	みやぎ県民文化創造の祭典参加者数(うち出品者・出演者等の数)(千人) [フロー型の指標]	指標測定年度	H20	H26	H27	H28	H29	
	目標値	-	1,020 (23)	1,030 (23)	1,040 (24)	1,050 (24)		
	実績値	1,036 (23)	1,039 (17)	-	-	-		
	達成率	-	101.9%	-	-	-		
目標値の設定根拠	・参加者数の目標値は、主催事業である小中学生のワークショップ等の体験率約2%を勘案して、毎年度約2%増加するものとして計算した。 ・出品者・出演者数の目標値は、参加者数の増加率に準じて設定した。							
実績値の分析	・参加者数については、同時期に開催されていた県美術館の企画展(東日本大震災復興支援特別公開ゴッホのひまわり展)の効果もあり、みやぎ芸術銀河作品展の来場者が大幅に増えたことや、屋外の大型音楽イベントが天候の影響を受けなかったことなどにより目標を達成することができた。							
全国平均値や近隣他県等との比較	-							

評価対象年度	平成26年度
--------	--------

政策	8	施策	23
----	---	----	----

**宮城の将来ビジョン推進事業**

評価番号	事業番号	事業名	平成26年度 決算見込額 (千円)	事業の状況							
		事業主体等	特記事項	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
1	1	慶長遣欧使節出帆400年記念事業	1,043	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				平成25年10月、慶長遣欧使節が石巻市月浦を出帆してから400年の節目を迎え、慶長遣欧使節の果たした歴史的な偉業を国内外に広く発信し未来へと引き継いでいくため、関係団体が連携して実行委員会を設立し、400年の記念事業を実施する。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・「スペインフェスティバル」の開催(H26.10月) 慶長遣欧使節が400年前にスペインに上陸した10月を記念し、スペインの音楽や踊り、食などに関連した文化交流イベントを実施した。</li> <li>・平成青少年遣欧使節団の派遣(H26.7.23～31) 実行委員会との共催により、県内の高校生10人をスペインへ派遣した。</li> </ul>			
	環境生活部 消費生活・文化課	震災復興 6③②	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29	
妥当	成果があった	概ね効率的	維持	1,043	-	-	-				
2	2	図書館市町村連携事業	47,822	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				県図書館が市町村図書館等への支援を行うことにより、県全体で図書館サービスの充実と質の向上を図る。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内35市町村が加入する宮城県図書館情報ネットワークシステム(通称MY-NET)を活用し、市町村図書館等への協力貸出等の充実を図った。</li> <li>・市町村図書館等への協力貸出数は、平成24年度は18,109冊、平成25年度は18,045冊、平成26年度は19,669冊と震災前には及ばないが徐々に回復傾向を示している。</li> <li>・その他、巡回相談や研修会等の実施により、市町村図書館等に対し、各種支援や情報提供を行った。</li> </ul>			
	教育庁 生涯学習課		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29	
妥当	成果があった	効率的	維持	47,822	-	-	-				
3	3	みやぎ県民大学推進事業	2,714	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				震災からの復興に向け、地域において生涯学習活動を推進する人材の育成や、学校、社会教育施設、市町村、民間団体等との連携・協力により、多様な学習機会を提供する。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施講座数:55講座</li> <li>・受講者数:1,531人</li> <li>・受講率:71.1%</li> <li>・前年度と比較すると、開講数が7講座増加し、受講者数も53人増加した。特に市町と共催で行われた生涯学習活用出前講座において受講率が高く、地域のニーズに合った講座が開催された。</li> </ul>			
	教育庁 生涯学習課	震災復興 6③①	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29	
妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	2,714	-	-	-				

4	4	広域スポーツセンター事業	9,232	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
		被災者を含むすべての県民の健康増進と活力維持を図るため、地域や年齢・性別、障害の有無に関わらず、だれもがスポーツに親しめるよう、みやぎ広域スポーツセンター機能の充実を図り、県民が主体的にスポーツを楽しむことができるように「総合型地域スポーツクラブ」の設立・育成に向けた取組を支援する。		<p>・平成26年度に柴田町において1クラブが新設され、現在県内では、45のクラブがスポーツを通じたコミュニティーの核として活動している。また、色麻町に設立準備委員会が設立されている他に、白石市、東松島市、涌谷町、蔵王町にも設立に向けた動きが見られる。</p>							
	教育庁	スポーツ健康課	震災復興 6③①	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	ある程度 成果が あった	効率的	維持	9,232	-	-	-
5	5	スポーツ選手強化対策事業	128,622	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
		本県の競技力の向上を図るため、公益財団法人宮城県体育協会等を通じて競技スポーツ選手の強化を支援する。また、被災者の活力と希望を生み出し、県民の生涯スポーツへの参画を促進するため、スポーツにおける国際大会・全国大会等で活躍できる選手の育成を支援する。		<p>・本県のスポーツ推進計画(平成25年度～29年度)において、国民体育大会の目標値として総合順位10位台の維持を目標としている。平成26年度の総合順位は25位であり、東北六県の中では最高の順位であった。目標とする総合順位達成のためには、冬季競技種目の得点獲得が1つの課題となっている。</p>							
	教育庁	スポーツ健康課	震災復興 6③①	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	ある程度 成果が あった	効率的	維持	128,622	-	-	-
6	6	運動部活動地域連携促進事業	21,710	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
		震災の影響により、児童生徒の運動する場や機会の減少をはじめ、体力・運動能力の低下など、学校における運動部活動を取り巻く環境が変化している中で、学校と地域が連携し、地域に住む優れたスポーツ指導者を「外部指導者」として活用し、運動部活動の充実及び教員の指導力向上を図る。また、被災校に対して、活動場所への移動や活動場所の確保についての支援を行う。		<p>・外部指導者342人(中学校107校247人、高等学校46校95人)を派遣した。特に今年度は、文科省の「運動部活動の工夫・改善支援事業」を活用し、「地域と連携した中学校の運動部活動推進事業」を立ち上げ、部活動の在り方について研究実践するため、4市町を推進モデル地区に指定し、中学校派遣248人のうち61人を推進モデル地区に派遣している。</p> <p>・東日本大震災により被災した7校(中学校1校、高等学校6校)の運動部活動にかかる移動費及び施設使用料を支援した。</p>							
	教育庁	スポーツ健康課	震災復興 6③①	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	成果が あった	効率的	維持	21,710	-	-	-
7	7	平成29年度全国高等学校総合体育大会開催事業	500	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
		平成29年度に南東北3県(山形・宮城・福島)で開催される全国高等学校総合体育大会(インターハイ)について、主催者として準備及び調整業務を行うとともに、競技大会の運営を主管する宮城県高等学校体育連盟等への業務支援を行うことにより、円滑な大会運営を図る。		<p>・平成26年4月にスポーツ健康課内に2人の専任職員を配置した。11月には宮城県準備委員会を設立し基本構想等を策定し、また、県高体連、開催市町と打ち合わせを行い、競技会場、開催期間の調整などを行うなど本格的に開催準備を進めた。</p>							
	教育庁	スポーツ健康課		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	成果が あった	効率的	拡充	500	-	-	-

8	8	平成27年度全日本中学校体育大会開催事業		事業概要 平成27年度に宮城県で開催される全日本中学校体育大会について、主催者として準備及び調整業務を行うとともに、競技大会の運営を主管する宮城県中学校体育連盟等への業務支援を行うことにより、円滑な大会運営を図る。	平成26年度の実施状況・成果 ・本県では東松島市鷹来の森運動公園でソフトボールが、利府町セキスイハイムスーパーアリーナで卓球が開催される。平成26年7月に実行委員会を設立し、宮城県中学校体育連盟が中心となって開催準備を進めた。						
		教育庁		事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)					
		スポーツ健康課		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	成果があった	—	拡充	—	—	—	—
9	9	宮城県自転車競技場改修事業及び室内練習場等増設事業	132,368	事業概要 宮城野原地区広域防災拠点整備事業により、宮城自転車競技場(仙台市宮城野原)を解体することから、競技施設を宮城県自転車競技場(大和町)への集約化を行う。あわせて、集約化により必要となる同施設の走路部分の大規模改築や附帯施設(室内練習施設等)の新設を行う。	平成26年度の実施状況・成果 ・自転車競技施設を宮城県自転車競技場(大和町)へ集約化するために必要な、同施設の走路部分の大規模改築や附帯施設(室内練習施設等)の新設を実施・完了した。						
		教育庁		事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)					
		スポーツ健康課	震災復興 6③①	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	成果があった	概ね効率的	廃止	132,368	—	—	—
10	10	県有体育施設整備充実事業	488,199	事業概要 老朽化している県有体育施設の設備・備品を、被災者を含む全ての県民の健康増進のため、平成29年度南東北インターハイ開催及び宮城スタジアム第1種陸上競技場公認更新と併せて整備・更新することにより、施設機能の維持・向上を図る。	平成26年度の実施状況・成果 ・宮城スタジアム第1種陸上競技場公認更新工事や平成29年度南東北インターハイ開催に合わせた競技備品の更新など、老朽化並びに長寿命化対策のための事業を実施し、施設機能の維持・向上を図った。						
		教育庁		事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)					
		スポーツ健康課	震災復興 6③①	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	成果があった	概ね効率的	維持	488,199	—	—	—
11	11	ジュニアアスリート育成事業		事業概要 スポーツにおける国際大会・全国大会等で活躍できる選手を育成するため、県内全域の小学生の体力・運動能力の向上を図るとともに、ジュニアアスリートを発掘・育成し、個人の適性に応じた競技種目選択の機会充実を支援することにより、スポーツを通して活力と絆のある本県の復興を目指す。	平成26年度の実施状況・成果 ・4年生29人、5年生26人、6年生31人の計86人のゴールドジュニアアスリートが育成などの各種プログラムに取り組んだ。身体能力向上に向けたプログラムは年12回、4年生中心とした競技を体験するプログラムは27競技、5・6年生においては、自ら選択した競技のプログラムを受講した。本事業に参加しているアカデミー生(受講生)の中には、レスリング全国2位や国際トライアスロン大会で1位の成績を収めている児童が出ている。 なお、本事業は、全て民間資金を活用し、行っている。						
		教育庁		事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)					
		スポーツ健康課		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	ある程度成果があった	—	維持	—	—	—	—

12	12	みやぎの文化育成支援事業	6,579	事業概要		平成26年度の実施状況・成果			
				県民が芸術文化を鑑賞する機会を提供するとともに、県内の文化活動への支援を行う。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回小劇場(18回5,448人)</li> <li>・芸術祭(30,666人), 芸術祭巡回絵画・書道展(1回423人)</li> <li>・地方音楽会(4回)</li> <li>・河北美術展(本展1回・巡回展3回26,646人)</li> <li>・高等学校総合文化祭等開催による参加機会提供(生徒及び一般鑑賞者数総計10,913人)</li> <li>・国民文化祭参加支援(15事業20団体(者)382人)</li> <li>・文化庁事業活用による学校が文化芸術を体験する機会の提供(巡回公演53校, 芸術家派遣23校, 児童・生徒等14,377人参加)</li> <li>・文化芸術を鑑賞する機会を提供でき, 文化芸術を体験しようとする意欲が向上した。</li> </ul>			
				事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)			
教育庁	生涯学習課	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
		妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	6,579	-	-	-
13	13	全国高等学校総合文化祭宮城大会開催事業	3,444	事業概要		平成26年度の実施状況・成果			
				全国の高校生が集結し, 演劇や吹奏楽等23部門で発表・交流を行う高校生の文化の祭典「第41回全国高等学校総合文化祭」の平成29年度宮城県開催に向けた準備と円滑な大会運営を図る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第41回全国高等学校総合文化祭」のため, 業務別部会(総務・広報・生徒活動)を8回, 開催準備幹事会を3回, 開催準備委員会を1回行い, 開催準備を進めた。</li> <li>・部門強化事業を4部門で行ったほか, 協賛部門2部門で連絡調整会議を開催し, 部門の支援を行った。</li> </ul>			
				事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)			
教育庁	生涯学習課	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
		妥当	成果があった	概ね効率的	拡充	3,444	-	-	-
14	14	美術館教育普及事業	4,833	事業概要		平成26年度の実施状況・成果			
				県民の創作活動や研究, 体験の場として, 公開講座やワークショップなどの各種教育普及活動を実施する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由に活用できるオープンアトリエとしての創作室の運営を中心に, 体験を通して美術に親しめるワークショップや, 美術に対する関心と理解を深めるための美術館講座, 美術以外の芸術表現なども幅広く紹介する講演会等を実施した。</li> <li>・学校教育・社会教育と連携することにより, 教育普及活動の充実を図ることができた。</li> </ul>			
				事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)			
教育庁	生涯学習課	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
		妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	4,833	-	-	-
15	15	図書館貴重資料保存修復事業	1,604	事業概要		平成26年度の実施状況・成果			
				県図書館で所蔵している貴重資料の修復・保存を進め, その成果を公開するとともに, 学校教育・生涯学習の場における教材としての活用を図る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・『氣仙唐丹村有住村繪圖』1舗の修復を行った。</li> </ul>			
				事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)			
教育庁	生涯学習課	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
		妥当	成果があった	効率的	維持	1,604	-	-	-



16	16	瑞巖寺修理補助事業	17,775	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				国宝「瑞巖寺本堂」及び関連する建造物の修復工事を支援し、良好な状態での保存管理を行い、次代に引き継ぐ。 あわせて、地域の文化財を再認識するとともに、地域の資源としての活用を図り、地域の活性化に役立てる。				・瑞巖寺修理事業(平成20～29年度)計画により実施。本年度は本堂屋根葺上げ、左官建具、塗装等の工事を実施し、予定していた工事は計画通りに進化した。 ・本年度事業が順調に進行したため、計画通り次年度以降に中門、廊下、太鼓塀、御成門工事等を実施する。			
16	16	教育庁 文化財保護課		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	成果があった	効率的	維持	17,775	-	-	-
17	17	みやぎ県民文化創造の祭典(芸術銀河)開催事業	14,900	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				県民に対して、優れた芸術文化の鑑賞と発表の機会を広く提供するとともに、被災市町等の学校や公共施設、福祉施設等に重点的にアーティストを派遣し、子どもたちを中心に地域住民が身近に芸術文化に触れ合うことのできる少人数・体験型の事業を実施する。				・音楽アウトリーチ事業 60会場 5,386人参加 ・美術ワークショップ 4会場 154人参加 ・舞台ワークショップ 20会場 1,956人参加 ・芸術銀河美術展 1,134人参加 ・みやぎ発信劇場 710人参加 ・フェスティバルオーケストラ 635人参加 ・2014被災地キャラバン 35人参加 ・東北文化の日開催事業 82,897人参加 ・共催事業、協賛事業 950,775人参加 平成27年3月末現在			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
17	17	環境生活部 消費生活・文化課	取組5・9に再掲 震災復興 6③②	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	成果があった	概ね効率的	維持	14,900	-	-	-
				決算(見込)額計				881,345			
決算(見込)額計(再掲分除き)				881,345							

評価対象年度	平成26年度
--------	--------

政策	8	施策	23
----	---	----	----

**取組に関連する宮城県震災復興推進事業**

評価番号	事業番号	事業名	平成26年度 決算見込額 (千円)	事業の状況							
		事業主体等	特記事項	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
1	1	無形民俗文化財 再生支援事業	-	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				震災で活動母体のコミュニティが失われたり、用具が流出・損傷したりして、活動の継続が困難になった地域の祭礼行事や民俗芸能等の無形民俗文化財保持団体に対して、行事や芸能の再開を促すとともに、伝統文化の実施を通したコミュニティ再生の一助とするために、用具等の備品の整備を支援する。				・本年度は実施する団体がなかった。事業への希望はあるが、母体となるコミュニティそのものの復興がまだ途中であることから、次年度以降に事業化を繰り延べする団体もあった。次年度の事業化をめざし、継続的な支援を行った。			
		教育庁 文化財保護課	震災復興 1④	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				概ね妥当	ある程度 成果が あった	-	縮小	-	-	-	-
2	2	公立社会教育施設 災害復旧事業	143	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				震災で甚大な被害を受けた県立社会教育施設を復旧するとともに、使用が困難になった市町村の公民館等の社会教育施設の再建、復旧に対して支援する。				・津波被害による1施設を除く10施設の復旧が完了した。 ・残った1施設松島自然の家は平成30年度完了予定である。			
		教育庁 生涯学習課	震災復興 6③①	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	成果が あった	概ね効率的	維持	143	-	-	-
3	4	防災キャンプ推進 事業	1,220	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				学識経験者、行政関係者、PTA関係者等からなる地域実行委員会が地域の実情に即したプログラム内容を検討した上で、子どもと保護者及び地域住民を対象とした防災キャンプを実施するとともに、県内でその事業成果の普及を図る。				・気仙沼市、松島町、七ヶ浜町で実行委員会を組織し、地域の協力を得て実情に応じた計画を立て、避難生活型防災キャンプを実施した。 ・火起こし体験や空き缶飯作りなど、普段できない体験に計127人が参加した。 ・普及啓発のため、3市町の取組を「防災キャンプ推進フォーラム」で発表した。			
		教育庁 生涯学習課	取組33 再掲 震災復興 6③①	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	成果が あった	概ね効率的	維持	1,220	-	-	-
4	5	震災資料収集・ 公開事業	621,840	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				東日本大震災を後世に伝えるため、震災に関する図書・雑誌などを収集するとともに、県図書館内にコーナーを設置し、広く県民の利用に供する。また、震災記録や被災した地域の地域資料をデジタル化してWeb上で公開し、地域情報の活用の支援を行う。				・県内市町村との連携強化を図りながら、震災関連資料の収集を進めると共に、市販の資料収集についても広く網羅的に行った。 ・平成27年3月末時点で、図書3,714冊、雑誌1,390冊、視聴覚資料78点、新聞27種、チラシ類4,000点を収集し、「東日本大震災文庫」として広く県民に公開した。 ・震災関連資料のデジタル化及びWebで公開するためのシステム「東日本大震災アーカイブ宮城」を構築した。			
		教育庁 生涯学習課	取組33に再掲 震災復興 6③①	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	成果が あった	効率的	維持	621,840	-	-	-

5	6	松島自然の家再 建事業	321,423	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				松島自然の家本館及び屋外施設を再建する。				平成28年度の野外フィールド供用開始に向け、造成工事と建築設計を行った。 ・「松島自然の家再建に係る懇話会」では、フィールド造成関連のスケジュールやフィールド活動のプログラムについての意見交換を行った。			
		教育庁 生涯学習課	震災復興 6③①	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	成果があった	効率的	拡充	321,423	-	-	-
6	7	文化芸術による 被災地支援事業	1,848	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				被災地での文化芸術に対するニーズの把握に努めるとともに、各地で展開されている様々な文化芸術に関する取組の情報収集を行う。また、被災地で支援に取り組んでいるアーティストの活動の継続性やモチベーションの確保のため、アーティスト同士の意見交換や情報発信の場の設定をしていく。				・「忘れないための被災地キャラバン」を実施 期 間:H26.11.22(土)・23(日) 場 所:仙台市,石巻市,南三陸町,女川町 参加者:35人 ・アーティストとともに被災地を巡り、フォーラムの場において、キャラバンの感想や被災地における芸術文化の役割等について意見交換等を行った。			
		環境生活部 消費生活・文化課	震災復興 6③②	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				概ね妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	1,848	-	-	-
7	8	指定文化財等災 害復旧支援事業	9,255	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				震災により被害を受けた文化財の修理・修復を図るため、修理・修復費用に対する補助を行う。				・被災文化財所有者等と修理・修復の調整を行い、計6件の修理事業に対し補助を行った。 国指定2件 県指定1件 市指定3件(復興基金のみ)			
		教育庁 文化財保護課	震災復興 6③②	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	成果があった	効率的	維持	9,255	-	-	-
8	9	被災有形文化財 等保存事業	150	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				震災により破損した登録有形文化財(建造物・美術工芸品)を対象に、修理事業等に対する補助を行う。				・被災登録文化財所有者と修理・修復の調整を行い、計2件の修理事業に対し補助を行った。			
		教育庁 文化財保護課	震災復興 6③②	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	成果があった	効率的	維持	150	-	-	-
9	10	復興事業に伴う 埋蔵文化財の発 掘調査事業	15,000	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				震災に係る個人住宅・零細企業・中小企業等の建設事業,市町の復興事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査のうち,埋蔵文化財の分布・試掘調査等を行う。				・沿岸市町で行われる高台移転・道路改良・ほ場整備等の復興事業と係わりがある9市町60遺跡について試掘等を迅速に実施した。 ・調査の結果、遺構等が発見されなかった遺跡については事業着手可し、また、遺構等が発見された遺跡については事業者と事業計画について再調整し、埋蔵文化財保護と事業の迅速化の両立を図ることができた。			
		教育庁 文化財保護課	震災復興 6③②	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	成果があった	効率的	維持	15,000	-	-	-

10	11	特別名勝松島保護対策事業	748	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				特別名勝松島の適正な保護を図るため、専門的知見を有する有識者等に意見を聴取し、保護対策を実施する。				・特別名勝松島の現状変更等の許可等の申請手続きにおいて、国から必要な権限委譲を受け、文化財保護審議会松島部会で審議することにより、手続きの迅速化及び復興事業等との関わりで適切な保存管理を図ることができた。			
	教育庁 文化財保護課	震災復興 6③②	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29	
妥当	成果があった	概ね効率的	維持	748	-	-	-				
11	12	被災博物館等再興事業	453,621	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				震災により被災した博物館等のミュージアムの再興に向けて、資料の修復、保管場所の整備等の支援を行う。				・石巻市文化センター資料仮保管、被災資料再整理事業、岩沼市ふるさと展示室資料保管施設設置事業、東北歴史博物館被災資料等修理事業等、25施設の39事業を実施し、被災博物館等の再興を支援した。			
	教育庁 文化財保護課	震災復興 6③②	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29	
妥当	成果があった	概ね効率的	縮小	453,621	-	-	-				
決算(見込)額計			1,425,248								
決算(見込)額計(再掲分除き)			1,424,028								